



平成29年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月12日

上場取引所 東

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社
コード番号 2459 URL <https://www.auncon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 専務執行役員
四半期報告書提出予定日 平成28年10月13日

(氏名) 信太 明
(氏名) 坂田 崇典

TEL 03-5803-2727

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第1四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第1四半期	472	13.5	4	—	△6	—	△7	—
28年5月期第1四半期	416	4.6	△13	—	12	—	10	—

(注) 包括利益 29年5月期第1四半期 △19百万円 (—%) 28年5月期第1四半期 △12百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年5月期第1四半期	△0.98	—
28年5月期第1四半期	1.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第1四半期	1,021	693	67.9
28年5月期	1,042	712	68.4

(参考) 自己資本 29年5月期第1四半期 693百万円 28年5月期 712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年5月期	—	—	—	—	—
29年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,027	8.9	30	40.5	30	25.6	25	24.2	3.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期1Q	7,502,800 株	28年5月期	7,502,800 株
② 期末自己株式数	29年5月期1Q	— 株	28年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期1Q	7,502,800 株	28年5月期1Q	7,502,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年6月1日～平成28年8月31日）におけるわが国経済は、アベノミクスによる各種経済政策を背景に企業収益や雇用情勢の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国をはじめとするアジア新興国の景気減速や英国のEU離脱問題等による海外経済の不確実性の高まりや、円高・株安などを受け、企業を取り巻く環境は不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは収益力の安定と拡大を最優先課題とし、当連結会計年度においても「日系企業向け多言語SEMサービスへの経営資源の集中投下」、「アセット事業の安定稼働」、「海外法人における生産性向上」、そして、「人材育成による組織体制の強化」に注力し、業容の拡大を図りました。

特に当社グループの主たる事業である「日系企業向け多言語SEMサービス」のインバウンド市場につきましては、2016年以降、円高や中国の関税引き上げに伴う訪日外国人旅行者による爆買終焉が懸念されるなか、消費行動が時計やブランド品等の高額商品から、化粧品や香水等の消耗品および、観光や食・美容等のサービスにシフトしつつあります。そのため、当社が持つSEMのノウハウと、海外法人とのネットワークを活用した付加価値の高いサービスを提供することで、消費行動の変化に対応し、幅広い需要を取り込み、日本企業における外国人向けプロモーションに取り組んでまいりました。

なお、営業外収益で投資事業組合運用益等を、営業外費用で当社から海外法人への貸付金の洗い替えによる為替差損等を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は472,420千円（前年同期比13.5%増）、営業利益は4,825千円（前年同期は営業損失13,056千円）、経常損失は6,747千円（前年同期は経常利益12,052千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は7,374千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益10,550千円）となりました。

① マーケティング事業

マーケティング事業においては、円高による訪日外国人旅行者数の成長率の鈍化が懸念されたものの、特にアジア圏における旺盛な日本旅行需要を背景に、多言語（日本語以外の言語）プロモーション領域における売上および利益が堅調に推移致しました。当社及び海外法人の経営資源（人・情報）を連携し、相互に有効活用したことで、各国で異なる商慣習に合わせた営業活動や海外現地ごとに異なるプロモーション手法に対応したサービスの提供が実現し、受注率及び利益率の改善に寄与致しました。

また、急速に拡大する多言語・海外案件の中で、今後も付加価値の高いサービスを提供するために、グローバル人材の採用および教育に積極的な投資を継続しております。

以上の結果、当事業における売上高は459,825千円（前年同期比10.5%増）、営業利益は41,569千円（前年同期比53.6%増）となりました。

② アセット事業

アセット事業においては、海外進出支援の一環として、AUN PHILIPPINES INC. が保有するオフィス、コンドミニアム等の賃貸及び管理業務等を日系企業中心に提供しております。また、現地の優良なデベロッパーの物件に限定して、個人及び企業に対して売買仲介業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、フィリピンにおける高い経済成長への期待感から、個人投資家や企業からの売買案件が増加し、当事業における売上及び利益を牽引致しました。一方で、AUN PHILIPPINES INC. で保有する建設中物件の一部については、完成後早期に収益化を実現できるよう、プロモーション活動への積極的な投資や内装作業への先行投資を実施しております。

以上の結果、当事業における売上高は12,595千円（前年同期は一千円）、営業利益は3,045千円（前年同期は営業損失2,696千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%減少し、680,618千円となりました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、341,380千円となりました。これは、主に建物の減少によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、314,539千円となりました。これは、主に前受金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて714.0%増加し、13,826千円となりました。これは、主に長期前受金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少し、693,631千円となりました。これは、主に為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間に関しましては、概ね計画通りに推移しているため、平成28年7月13日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示して参ります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	480,531	435,700
受取手形及び売掛金	191,230	207,057
仕掛品	1,411	71
その他	30,313	41,057
貸倒引当金	△4,613	△3,269
流動資産合計	698,872	680,618
固定資産		
有形固定資産		
建物	87,335	82,752
減価償却累計額	△15,506	△17,859
建物(純額)	71,829	64,892
車両運搬具	4,867	2,208
減価償却累計額	△1,154	△577
車両運搬具(純額)	3,712	1,631
工具、器具及び備品	39,795	41,241
減価償却累計額	△34,882	△33,696
工具、器具及び備品(純額)	4,912	7,544
建設仮勘定	121,520	133,180
有形固定資産合計	201,974	207,248
無形固定資産		
ソフトウェア	1,644	1,402
無形固定資産合計	1,644	1,402
投資その他の資産		
投資有価証券	80,952	75,832
長期貸付金	30,119	28,094
敷金及び保証金	30,332	30,291
貸倒引当金	△1,596	△1,489
投資その他の資産合計	139,808	132,729
固定資産合計	343,427	341,380
資産合計	1,042,299	1,021,998
負債の部		
流動負債		
買掛金	165,948	186,767
未払費用	23,679	23,648
未払法人税等	4,977	1,387
前受金	45,630	28,670
その他	87,556	74,065
流動負債合計	327,793	314,539
固定負債		
リース債務	77	61
繰延税金負債	1,620	698
その他	-	13,066
固定負債合計	1,698	13,826
負債合計	329,491	328,366

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	341,136	341,136
資本剰余金	471,876	471,876
利益剰余金	△104,405	△111,779
株主資本合計	708,606	701,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,631	1,565
為替換算調整勘定	466	△9,263
その他の包括利益累計額合計	4,098	△7,698
新株予約権	102	97
非支配株主持分	0	0
純資産合計	712,807	693,631
負債純資産合計	1,042,299	1,021,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)
売上高	416,225	472,420
売上原価	310,739	340,351
売上総利益	105,486	132,068
販売費及び一般管理費	118,542	127,242
営業利益又は営業損失(△)	△13,056	4,825
営業外収益		
受取利息	75	37
解約手数料等	159	68
投資事業組合運用益	23,647	6,973
その他	1,295	151
営業外収益合計	25,177	7,230
営業外費用		
支払利息	14	4
為替差損	53	18,799
その他	0	0
営業外費用合計	68	18,804
経常利益又は経常損失(△)	12,052	△6,747
特別利益		
固定資産売却益	-	97
新株予約権戻入益	-	5
特別利益合計	-	102
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	12,052	△6,645
法人税、住民税及び事業税	1,502	728
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,550	△7,374
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	10,550	△7,374

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,550	△7,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,253	△2,065
為替換算調整勘定	△15,549	△9,730
その他の包括利益合計	△22,803	△11,796
四半期包括利益	△12,253	△19,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,253	△19,170
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	マーケティング事業	アセット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	416,225	—	416,225	—	416,225
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
セグメント利益又は損失(△)	27,068	△2,696	24,372	△37,428	△13,056

(注) 「調整額」の区分については以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	マーケティング事業	アセット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	459,825	12,595	472,420	—	472,420
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
セグメント利益又は損失(△)	41,569	3,045	44,615	△39,789	4,825

(注) 「調整額」の区分については以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前第1四半期連結累計期間においては、「マーケティング事業」の単一セグメントでありましたが、前連結会計年度より、当社グループの報告セグメントは、「マーケティング事業」及び「アセット事業」の2つの報告セグメントとなりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を開示しております。